

たのしくく パクりんこ

2021年
7月1日(木)
第12号
(食プロジェクト)

前回は、「こまえ工房」のインタビュー記事をご紹介いたしました。今回は、昨年オープンした「障害者支援施設みずき」の中にある『Cafe at』の取り組みと、『郷土料理』のイベント食をご紹介します。

狛江市立緑野小学校の特別支援学級

級では、毎年「特別支援学級連合展覧会」に参加していたそうです。昨年度は、新型コロナウイルスの影響で開催されなかったことから、保護者や教員の「子供達の作品を見て欲しい」という想いに応える形で、障害者支援施設みずきのCafe atの喫茶スペースが活用されました。粘土で作ったシーサー・水彩画・コースターなどの作品で喫茶スペースがアート空間に変わったそうです。

社会貢献や地域交流が求められる中で、とても良い繋がりになったと思います。今後の展開にも注目ですね

「ギャラリー」開催風景写真



「郷土料理特集」

「食」プロジェクトが始動した当初から、新メニューや郷土料理の取り入れについて検討が持たれました。障害者支援施設みずきでは、先行して汁物から郷土料理の提供が進められています。新型コロナウイルスの感染予防の中で、味覚や視覚から地域や郷土を感じることができる可能性を感じます。

『三平汁：北海道』『みぞれ汁：徳島県』



『アーサー汁：沖縄』



『けの汁：青森県』



編集後記：佐久間 友弘 (リブインさくら/施設長)
記念式典を間近に控えておりますが、「食」プロジェクトでも記念式典スイーツの準備を進めています。その様な中でも各拠点で「食」を通した取り組みや地域交流の芽が育っていることを感じるようになってきました。

